（槇原　寛　298-0002　いすみ市日在 2033-5）
（吉武　啓　305-8604　つくば市観音台 3-1-3
（独）農業環境技術研究所
農業環境インベントリーセンター）

【短報】三宅島で確認した南方系移入甲虫2種

伊豆諸島三宅島において，以下の2種の移入昆虫を確認したので記録しておく．以下，採集者は全て吉富博之で，採集地点の番号および各環境等の詳細な情報は吉富（2013）に示している．本調査は，科研費（24510333；研究代表者：小島弘昭）の助成を受けて行われた．

リュウキュウツヤハナムグリ*Protaetia* (*Pyropotosia*) *pryeri* (Janson)

土井（2013）によると，伊豆諸島では八丈島と八丈小島，青ヶ島，神津島での記録があるようだが，三宅島においても多数を確認した．確認地点は三宅島南部の海岸で，ススキの葉上などに多数個体がとまっていた．車に轢かれた死骸や飛び回る個体も多く目撃しており，同地では少なくとも数年前から定着していたと考えられる．

10exs.（+ 多数目撃；図 1），三宅島釜方海岸 [IZ61], 29. VI. 2013.

図1.リュウキュウツヤハナムグリ.

図2. ヨツモンカメノコハムシ（左：成虫；右：蛹）.

ヨツモンカメノコハムシ*Laccoptera quadrimaculata* (Thunberg)

元来は沖縄島以南に生息する種であったが，九州およびその周辺諸島，本州（静岡県）において分布地が拡大しつつある（山元・和田，2001；酒井ほか，2008；瀬島，2011）．伊豆諸島では，すでに大島と三宅島において2012年にサツマイモとその周辺に生育するノアサガオで発生が確認されていた（竹内ほか，2012）．筆者はハマヒルガオ *Calystegia soldanella* (L.) Roem. et Schult. の葉上より本種を確認した．確認地点は2地点のみであるが，発生状況から考えると三宅島では海岸部を中心に広く分布拡大している可能性が高い．

6exs.（+ 幼虫・蛹を多数採集；図 2），三宅島錆ヶ浜 [IZ58], 28. VI. 2013.

多数目撃（成虫・幼虫・蛹），三宅島釜方海岸 [IZ61], 29. VI. 2013.

引用文献

酒井孝明・倉田章久・石川　均，2008．本州に侵入したヨツモンカメノコハムシ．月刊むし，(451)：15–16.

瀬島翔馬，2011．397 (Col.: Chrysomelidae) 福岡市におけるヨツモンカメノコハムシの記録．PULEX 日本昆虫学会九州支部会報，(90)：576–577.

竹内浩二・嶋田竜太郎・沼田洋子・沼沢健一・嶋田　綾，2012．[大島特産園芸作物における生産進行技術対策] ヨツモンカメノコハムシの発生と被害状況および防除対策．東京都農林総合研究センター平成 24 年度成果情報一覧．URL http://www.tokyo-aff.or.jp/center/kenkyuseika/08/pdf/h24/26_1.pdf（2013 年 11 月 28 日アクセス）

土井　学，2013．伊豆諸島神津島でリュウキュウツヤハナムグリを確認．月刊むし，(514)：20–21.

山元宣征・和田義人，2001．長崎市周辺に定着した侵入昆虫ヨツモンカメノコハムシ．月刊むし，(368)：11–14.

吉富博之，2013．個人ホームページ．URL https://sites.google.com/site/waterbeetlesofjapan/home/field-investigation/Collecting%20site%20in%20Izu2.pdf（2013 年 11 月 28 日アクセス）

（吉富博之　愛媛大学ミュージアム）